

令和8年3月23日

第3回 大阪市立愛珠幼稚園 学校協議会 実施報告書

大阪市立愛珠幼稚園

校 園 長 名 藤 岡 裕 子

日 時	令和8年3月19日(水) 15時00分～17時00分	
場 所	大阪市立愛珠幼稚園 研究室	
出席者	委員 など	5名
	校 園	2名
	区役所	0名
議 題	(1) 運営に関する計画・配付資料について (2) 意見交換	
協 議 要 旨	(1)	協議の結果 ○目標及び内容について理解を得た。
		意見の概要 「運営に関する計画」最終評価(案)について、園長より各年度目標について指標ごとにと組内 【安全・安心な教育の推進】 ・ 1 安全・安心な教育環境の実現 取組内容①については、学校安全計画に基づき、視覚的にわかりやすい教材を活用した指導を行った。継続的に行ったことにより、成果が出た。 ・ 2 豊かな心の育成 取組内容②については、絵本や子どもが扱いやすいような用具を活用することで、個人ロッカーの整理をしたり、保育室の中をきれいに使おうとしたりする態度が身についた。 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・ 3 幼児教育の推進と質の向上 取組内容①については、担任間で期案や週案などを共有し、互いの保育を見たり見通しをもって活動したりしながら、子どもがのびのびと表現できる機会を設けることができた。 ・ 5 健やかな体の育成 取組内容②については、誕生会やおさんぽデーなどを活用し、体を動かす活動の工夫ができた。園内研修が目標回数の3回に達することができなかつたため、Bとした。 ・ 5 健やかな体の育成 取組内容③については、写真や視覚教材などを活用し、基本的な生活習慣を身につけるための保健指導を行った。子どもの実態に応じた指導が効果的であった。 【学びを支える教育環境の充実】 ・ 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 取組内容①については、ホームページがリニューアルしたことから、その使い方を互いに共有しながら更新するように努めた。ゆとりの日を職朝で共有し、できるだけ定時退勤を目指しているが、現状として課題が残る部分がある。継続的な周知と意識保持、業務内容の見直しが必要である。 ・ 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 取組内容②については、積極的に研修を受け、自己研鑽を積むことができた。園内研修は日々の保育で互いに見合う機会を取り入れ、保育の資質向上に生かした。しかし、目標回数に届かなかつたため、Bとした。

		<p>・7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 取組内容③については、ホームページや園だよりなどを活用し、保育内容を保護者に知らせる機会をもつことができた。</p> <p>アンケート結果では、全ての項目で高い肯定的回答の割合を得ることができた。園の教育や運営に対する姿勢が評価されたと考える。今後も、本園の実態に基づき、歴史や伝統を大切にしながら子どもたちにふさわしい幼児期の学びを保証できるよう取り組んでいきたい。</p>
	(2) ○意見交換	<p>○どの項目も非常に頑張っておられることが分かる。</p> <p>・どの項目も非常によい評価である。各学年別のアンケートは90%以上の評価が多いが、2人が「ややそう思う」の評価であれば80%代の数値となる。「ややそう思う」は肯定的な評価であるし、少人数の評価の違いで数値が大きく変動することから、数値のみに一喜一憂するレベルの評価ではない。</p> <p>・行政は、結果を残さず記録を残すことが多いため、報告書や様々な書類の提出が多い。豊かな教育のために先生方が頑張れるには、根本の業務の簡素化が必要である。オーバーチームにならないか心配である。成果を求められることとゆとりをもつこととは、両極端である。幼稚園という校種は、少ない教職員数で頑張っておられるからこそ、持続可能な計画でオーバーチームにならないように気を付けていただきたい。</p> <p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>・安全は園運営にとって大切なことである。地域の特性上、外部委託が可能ではないか。外部委託できる部分があればよい。</p> <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>・取組内容②について、園内研修の回数が目標の3回に達することができずBとされているが、年度目標についての評価基準が達成度であり、大きく上回っている。充実した保育をしてくださっているので、回数の達成率を気にせず、A評価でよいと考える。 出席者賛同のため、A評価とする。</p> <p>・行事を振り返るとすべてのことがつながっていることが分かった。評価のための業務ではなく、やりがいを感じられるような、目標達成を目指しやすい内容にすると良いのではないかと。</p> <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>・教職員がゆとりをもちモチベーションを高くもってほしい。ゆとりをもち、ストレス無く過ごせるよう、重要性の低いものは割愛する、民間の効率的なやり方を取り入れていくなどするのも方法の一つであると考え。</p> <p>・上記、【未来を切り拓く学力・体力の向上】の取組内容②と同様の意見である。A評価でよいと考える。 出席者賛同のため、A評価とする。</p>
協議資料	<p>本日の流れ</p> <p>○令和7年度 「運営に関する計画」最終評価(案)</p> <p>○「運営に関する計画」アンケート結果(1月実施) 保護者版・教職員版 計2枚</p> <p>○令和7年度 園だより(10月～3月)</p> <p>○令和7年度 あんぜんだより(No2)</p> <p>○令和7年度 ほけんだより(No4、No5)</p>	
備考	<p>・傍聴者なし</p>	

